

# 交付運用報告書

## パン・アフリカ株式ファンド

追加型投信／海外／株式

作成対象期間（2016年9月27日～2017年3月27日）

第13期（決算日 2017年3月27日）

### 受益者のみなさまへ

第13期末（2017年3月27日）	
基準価額	8,929円
純資産総額	2,344百万円
騰落率※	15.0%
期中分配金合計	0円

※騰落率は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、「パン・アフリカ株式ファンド」は、このたび第13期の決算を行いました。

当ファンドは、アフリカの成長によって恩恵を受ける企業の株式等を実質的な投資対象とし、信託財産の中長期的成長を図ることを目的とします。当作成期もそれに沿った運用を行いました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも引続きお引立て賜りますようお願い申し上げます。

当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）を電磁的方法によりご提供することを定めております。運用報告書（全体版）は下記の方法で閲覧いただけます。

なお、ご請求いただいた場合には交付いたしますので、販売会社までお問い合わせください。

#### <運用報告書（全体版）の閲覧方法>

右記URLにアクセスし、「ファンド検索」等から、当ファンドのページを表示させることにより、運用報告書（全体版）を閲覧およびダウンロードすることができます。



損保ジャパン日本興亜アセットマネジメント

東京都中央区日本橋二丁目2番16号 共立日本橋ビル



<http://www.sjnk-am.co.jp/>

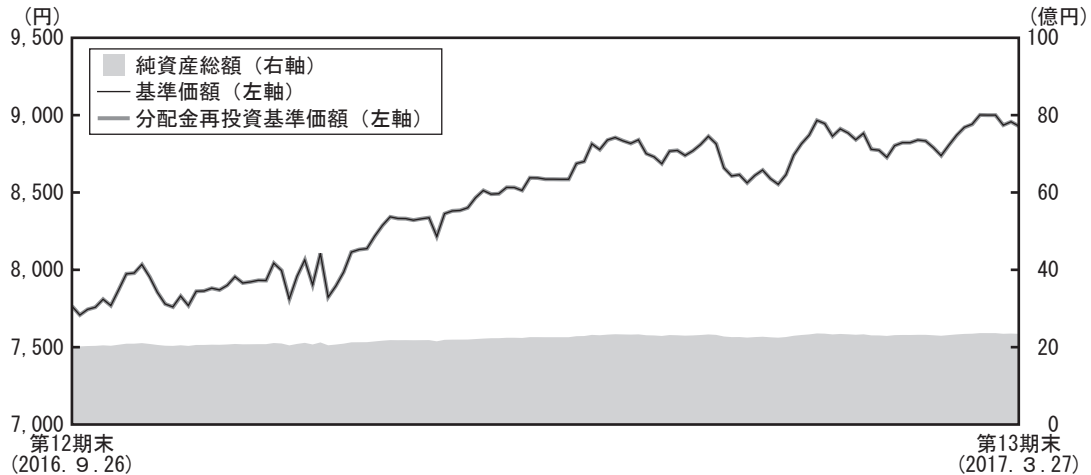
お問い合わせ先



クライアントサービス第二部 0120-69-5432  
(受付時間 営業日の午前9時～午後5時)

## 運用経過

### ■ 基準価額の推移



第13期首：7,765円

第13期末：8,929円（期中分配金合計0円）

騰落率：15.0%（分配金再投資基準価額ベース）

- ・分配金再投資基準価額の推移は、2016年9月26日の基準価額をもとに委託会社にて指数化したものを使用しております。
- ・分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- ・分配金を再投資するかどうかについてはお客さまご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- ・当ファンドは、マルチ ストラテジーズ ファンドーUBPアフリカン・エクイティ・ファンドへの投資比率を可能な限り高位に保ちますが、本投資信託証券のコンセプトに適った指数等が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は記載しておりません。

### ■ 基準価額の主な変動要因

主要投資対象である「マルチ ストラテジーズ ファンドーUBPアフリカン・エクイティ・ファンド」の基準価額が上昇したことから、当期の基準価額は上昇しました。

主要投資対象である「マルチ ストラテジーズ ファンドーUBPアフリカン・エクイティ・ファンド」においては、為替と株式が共にプラス寄与しました。通貨が変動相場制へ移行し、大幅な切り下げとなったエジプトを除いて、アフリカ大陸通貨は総じて対円で上昇しました。また、エジプトポンドの切り下げを市場が好感したため、エジプトを中心に株式市場は上昇しました。

■ 1万口当たりの費用明細

項目	第13期		項目の概要
	(2016年9月27日～2017年3月27日)		
	金額	比率	
(a) 信託報酬	45円	0.533%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率（年率）× $\frac{\text{期中の日数}}{\text{年間の日数}}$ 期中の平均基準価額は8,444円です。
（投信会社）	(16)	(0.188)	ファンドの運用の対価
（販売会社）	(27)	(0.323)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
（受託会社）	(2)	(0.021)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) その他費用	0	0.001	(b) その他費用＝ $\frac{\text{期中のその他費用}}{\text{期中の平均受益権口数}}$
（保管費用）	(0)	(0.000)	有価証券等の保管等のために、海外の銀行等に支払う費用
（監査費用）	(0)	(0.001)	監査法人に支払うファンドの監査にかかる費用
（その他）	(0)	(0.000)	信託事務の処理にかかるその他の費用等
合計	45	0.534	

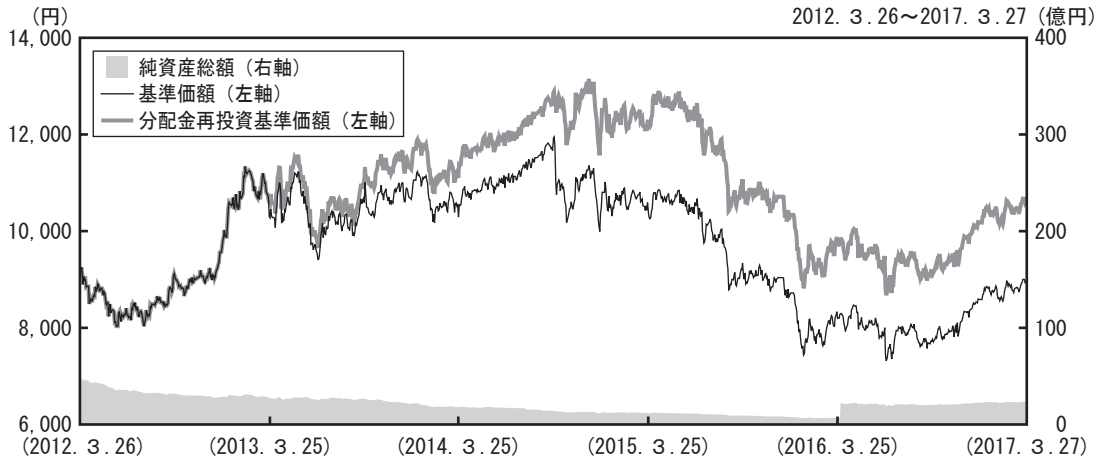
(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、その他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含まず。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(注4) 各項目の費用は、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。

■最近5年間の基準価額等の推移



- ・分配金再投資基準価額の推移は、2012年3月26日の基準価額をもとに委託会社にて指数化したものを使用しております。
- ・分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- ・分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- ・当ファンドは、マルチ ストラテジーズ ファンドーUBPアフリカン・エクイティ・ファンドへの投資比率を可能な限り高位に保ちますが、本投資信託証券のコンセプトに適った指数等が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は記載しておりません。

決算日		2012年3月26日 決算日	2013年3月25日 決算日	2014年3月25日 決算日	2015年3月25日 決算日	2016年3月25日 決算日	2017年3月27日 決算日
基準価額	(円)	9,059	10,300	10,290	10,373	8,199	8,929
期中分配金合計 (税引前)	(円)	—	300	500	1,050	0	0
分配金再投資基準価額騰落率	(%)	—	17.0	4.8	10.7	△ 21.0	8.9
純資産総額	(百万円)	4,774	2,688	1,754	1,174	688	2,344

## ■投資環境

### ○アフリカ株式市場

当期のアフリカ株式市場は、エジプト、モロッコ株式市場が上昇した一方、ナイジェリア、ケニア株式市場が下落し、南アフリカ株式市場は、ほぼ横這いとなりました。エジプト株式市場は、中央銀行が通貨エジプトポンドの為替レートを市場に委ねる変動相場制へ移行し、通貨の切り下げに踏み切ったことが好感され、大幅高となりました。モロッコ株式市場は、中央銀行による外国為替取引自由化への期待等を背景に上昇しました。南アフリカ株式市場は、期初に財務相の追訴の報道などから売られました。格付会社が同国の外債建て債務格付けを据え置いたことが好感され、値を戻しました。

一方、ナイジェリア株式市場は、2016年6月に中央銀行が自国の通貨制度の変動相場制への移行を発表したものの、依然として通貨ナイラの流動性への懸念が払しょくできず、値を下げる展開となりました。

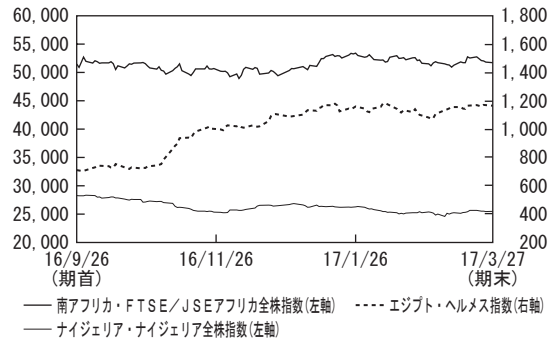
### ○為替市場

当期の為替市場では、エジプトポンドを除き、アフリカ大陸通貨は総じて対円で上昇しました。

米国の大統領選挙で、大規模なインフラ投資や大型減税などの政策を掲げていたトランプ氏が当選したことから、米国債券利回りが上昇したため、ドル円で大幅にドル高円安が進行し、対円では殆どの通貨が上昇しました。

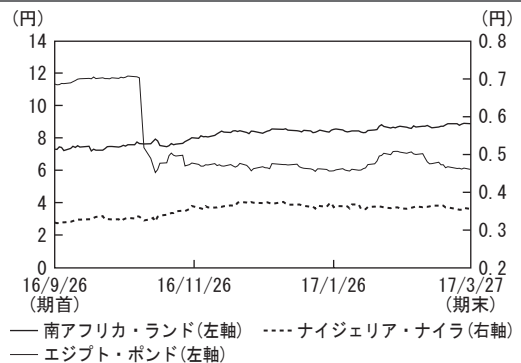
一方、エジプトポンドは、中央銀行が為替レートを市場に委ねる変動相場制へ移行したことで、大きく下落しました。

主要株式指数の推移



(出所：Bloomberg)

主要為替レートの推移



(出所：Bloombergおよび投資信託協会)

(注) 為替レートは対顧客電信売買相場の仲値を使用しております。

## ■当該投資信託のポートフォリオ

当ファンドは、「マルチ ストラテジーズ ファンドーUBPアフリカン・エクイティ・ファンド」および「損保ジャパン日本債券マザーファンド」を主要投資対象とし、信託財産の中長期的成長を目指して運用を行います。

マルチ ストラテジーズ ファンドーUBPアフリカン・エクイティ・ファンドの期末の組入比率は95.1%でした。

### （マルチ ストラテジーズ ファンドーUBPアフリカン・エクイティ・ファンド）

主として、南アフリカ、モロッコ、ケニア、エジプト等に幅広く分散投資を行いました。

通貨の切り下げにより魅力度が高まったエジプト株式組入比率を引き上げ、南アフリカの株式組入比率を引き下げました。

期中に、エジプトのコマーシャル・インターナショナル銀行の買い増しを行いました。一方、南アフリカのナムパック、モロッコのバンク・セントラーレ・ポピュレール等を売却しました。

### （損保ジャパン日本債券マザーファンド）

金利戦略は、期初より20年ゾーンをオーバーウェイトしデュレーションを小幅にロングする戦略を継続しました。景況感の改善と日銀の追加緩和観測の後退により、11月以降は超長期ゾーンをアンダーウェイトするショートデュレーション戦略を取りました。債券種別戦略は、非国債をオーバーウェイトする戦略を継続しました。

## ■当該投資信託のベンチマークとの差異

当ファンドは、マルチ ストラテジーズ ファンドーUBPアフリカン・エクイティ・ファンドの投資比率を可能な限り高位に保ちますが、本投資信託証券のコンセプトに適った指数等が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は記載しておりません。

## ■分配金

収益分配金については、基準価額の水準等を勘案し、当期は分配を行いませんでした。なお、収益分配に充てなかった収益は、信託財産に留保し、運用の基本方針に基づいて引き続き元本と同一の運用を行います。

### <分配原資の内訳>

(単位：円、1万口当たり・税引前)

項目	第13期
	2016年9月27日～2017年3月27日
当期分配金	—
（対基準価額比率）	—%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	360

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切り捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税引前）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

## ■今後の運用方針

### (パン・アフリカ株式ファンド)

当ファンドは、主として「マルチ ストラテジーズ ファンドーUBPアフリカン・エクイティ・ファンド」および「損保ジャパン日本債券マザーファンド」の投資信託証券を主要投資対象とし、信託財産の中長期的成長を目指して運用を行います。原則として、「マルチ ストラテジーズ ファンドーUBPアフリカン・エクイティ・ファンド」への投資比率を可能な限り高位に保ちます。

### (マルチ ストラテジーズ ファンドーUBPアフリカン・エクイティ・ファンド)

南アフリカについては、通貨安への耐性の強い輸出企業や、南アフリカ以外の国々で堅実な収益を上げる見込みのある企業を選好します。ナイジェリアについては、通貨ナイラの流動性が乏しく、リスクの高い状況が当面続くと想定されます。エジプトについては、通貨切り下げと変動相場制への移行は長期的にプラスになると見ており、エジプトポンド建ての株式についても今後投資を検討していきます。ケニアとモロッコ経済は、総じて堅調に推移しており、今後も高い成長が期待されることから、消費関連株、通信株等がその恩恵を受けるものと考えます。

### (損保ジャパン日本債券マザーファンド)

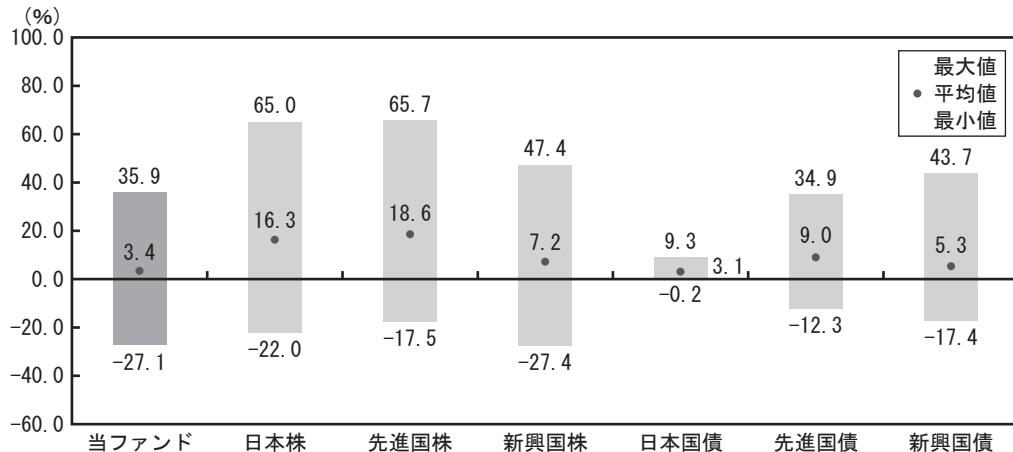
金利戦略については、相場環境に応じてカーブ戦略を中心に機動的に変更する方針です。債券種別戦略については、現在の非国債をオーバーウェイトする戦略を継続します。



■当該投資信託の概要

商品分類	追加型投信／海外／株式	
信託期間	2010年9月30日から2020年9月25日まで	
運用方針	信託財産の中長期的成長を図ることを目的とします。	
主要投資対象	パン・アフリカ株式ファンド	「マルチ ストラテジーズ ファンドーUBPアフリカン・エクイティ・ファンド」および「損保ジャパン日本債券マザーファンド」
	マルチ ストラテジーズ ファンドーUBPアフリカン・エクイティ・ファンド	アフリカに本拠を置く企業、または、アフリカでビジネスを拡大していくことが期待される企業の株式
	損保ジャパン日本債券マザーファンド	日本の公社債
運用方法	①アフリカの成長によって恩恵を受ける企業の株式（アフリカ関連株式）等を実質的な投資対象とし、信託財産の中長期的成長を目指します。 ②年2回決算を行い、収益分配方針に基づき収益の分配を行います。	
分配方針	毎決算時に、原則として以下の方針に基づき分配を行います。 ①分配対象額の範囲は、経費控除後の繰越分を含めた利子、配当収入と売買益（評価損益を含みます。）等の全額とします。 ②収益分配金額は、委託会社が基準価額水準、市場動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。	

■ 代表的な資産クラスとの騰落率の比較



期間：2012年3月～2017年2月

\* 上記期間の各月末における直近1年間の騰落率の平均・最大・最小を、当ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示したものです。

\* 各資産クラスの指数

日本株・・・東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

先進国株・・・MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）

新興国株・・・MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円換算ベース）

日本国債・・・NOMURA-BPI国債

先進国債・・・シティ世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

新興国債・・・JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバーシファイド（円ベース）

※海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。

※詳細は最終ページの「指数に関して」をご参照ください。

- ・当ファンドについては、分配金（税引前）再投資基準価額の騰落率です。
- ・全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。
- ・上記の騰落率は直近月末から60ヶ月遡った算出結果であり、決算日に対応した数値とは異なります。

## 当該投資信託のデータ

### ■当該投資信託の組入資産の内容

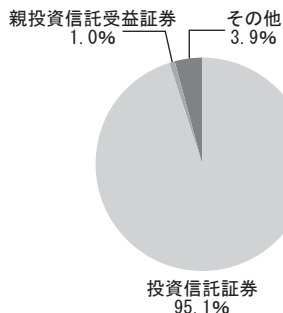
※全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）に記載されています。

#### ○組入ファンド

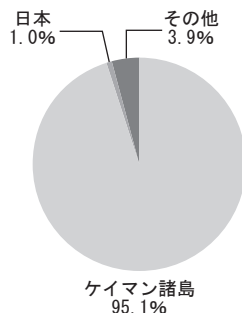
	第13期末
	2017年3月27日
Multi Strategy Fund - UBP African Equity Fund	95.1%
損保ジャパン日本債券マザーファンド	1.0%

（注）比率は第13期末における純資産総額に対する評価額の割合です。

#### ○資産別配分



#### ○国別配分



#### ○通貨別配分



（注）比率は第13期末における純資産総額に対する評価額の割合です。資産別配分および国別配分のその他には、現金等が含まれます。

### ■純資産等

項目	第13期末
	2017年3月27日
純資産総額	2,344,854,257円
受益権総口数	2,626,077,223口
1万口当たり基準価額	8,929円

※当期中における追加設定元本額は62,812,306円、同解約元本額は57,636,543円です。

## ■組入上位ファンドの概要

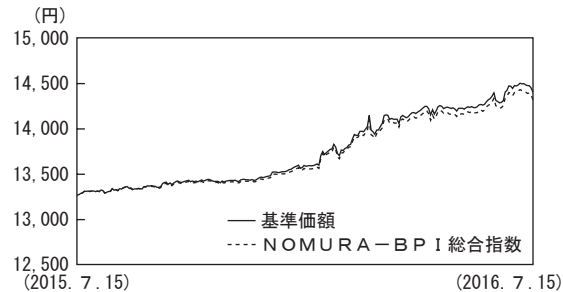
※組入ファンドの計算期間の詳細な運用経過および全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）に記載されています。

### <マルチ ストラテジーズ ファンドーUBPアフリカン・エクイティ・ファンド>

現時点で入手可能な直近の決算データが存在しないため、掲載しておりません。

### <損保ジャパン日本債券マザーファンド>

#### ○基準価額の推移



・ベンチマーク（NOMURA-BPI 総合指数）の推移は、2015年7月15日の基準価額をもとに委託会社にて指数化したものを使用しております。

#### ○組入上位10銘柄

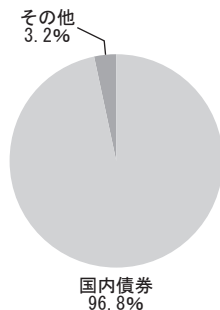
	銘柄名	債券種類	償還日	比率
1	365 2年国債	国債証券	2018/6/15	12.6%
2	342 10年国債	国債証券	2026/3/20	5.2%
3	341 10年国債	国債証券	2025/12/20	5.0%
4	157 20年国債	国債証券	2036/6/20	4.9%
5	363 2年国債	国債証券	2018/4/15	4.9%
6	152 20年国債	国債証券	2035/3/20	4.5%
7	151 20年国債	国債証券	2034/12/20	4.5%
8	156 20年国債	国債証券	2036/3/20	4.1%
9	100 20年国債	国債証券	2028/3/20	2.9%
10	150 20年国債	国債証券	2034/9/20	2.8%
組入銘柄数			64銘柄	

#### ○1万口当たりの費用明細

(2015年7月16日～2016年7月15日)

項目	
その他費用 (その他)	0円 (0)
合計	0

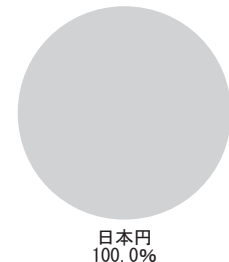
#### ○資産別配分



#### ○国別配分



#### ○通貨別配分



(注1) 基準価額の推移は組入ファンドの直近の計算期間のものです。

(注2) 1万口当たりの費用明細は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。なお、費用項目については2ページ（1万口当たりの費用明細の項目の概要）をご参照ください。

(注3) 組入上位10銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日（2016年7月15日）現在のものです。

(注4) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

## ■ 指数に関して

### ○ 「代表的な資産クラスとの騰落率の比較」に用いた指数について

#### 東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

東京証券取引所第一部上場全銘柄の基準時 (1968年1月4日終値) の時価総額を100として、その後の時価総額を指数化したものです。東証株価指数 (TOPIX) は、東京証券取引所の知的財産であり、東京証券取引所は、TOPIXの算出もしくは公表の方法の変更、TOPIXの算出もしくは公表の停止またはTOPIXの商標の変更もしくは使用の停止を行う権利を有しています。

#### MSCI コクサイ・インデックス (配当込み、円ベース)

MSCI Inc. が開発した、日本を除く世界主要国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成した株価指数です。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は、同指数の内容を変える権利および公表を停止する権利を有しています。

#### MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円換算ベース)

MSCI Inc. が開発した株価指数で、世界の新興国で構成されています。MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円換算ベース) は、MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み、米ドルベース) をもとに委託会社が独自に計算したものです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は、同指数の内容を変える権利および公表を停止する権利を有しています。

#### NOMURA-BPI 国債

野村證券株式会社が公表する国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表す投資収益指数です。NOMURA-BPIに関する一切の知的財産権その他一切の権利は、すべて野村證券株式会社に帰属します。野村證券株式会社は、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。

#### シティ世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

Citigroup Index LLCにより開発、算出および公表されている、世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はCitigroup Index LLCに帰属します。また、Citigroup Index LLCは同指数の内容を変える権利および公表を停止する権利を有しています。

#### J.P. Morgan GB I-EM グローバル・ディバーシファイド (円ベース)

J.P. Morgan Securities LLCが算出し公表している指数で、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。同指数の著作権はJ.P. Morgan Securities LLCに帰属します。



損保ジャパン日本興亜  
アセットマネジメント